

北九州憲法ネットニュース

発行 9条の会・北九州憲法ネット 2009年12月25日 第39号
Tel & fax 591-5522
803-0817 北九州市小倉北区田町13番21号田町ビル3F
URL⇒<http://kitaq-kenpou.net/>

第9条

戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認

日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

第8回北九州9条の会交流会を開催します!

北九州憲法ネットは、2月17日(水)代表世話人事務局合同会議を開き、憲法をめぐる情勢の討議と当面の課題について検討しました。

憲法をめぐる情勢では、今年5月18日の国民投票法施行期日を前に、改憲勢力の「田母神問題」利用した“草の根”運動の展開や、自民党の憲法論議の活発化を目指した憲法改正推進本部（本部長＝保利耕輔・前政調会長）の新設や2005年の「新憲法草案」を見直し、第2次草案の策定に入る方針の決定、また民主党は、集団自衛権に対する政府見解の変更や、法制局長官の

国会での発言を封じようとしています。政権交代により、明文改憲の危険が遠のいたとはいえ、解釈改憲の様々な手法が画策されています。こうした情勢は、私たち憲法ネットの市民への働きかけが一層急務であることを示しています。そこで、二つのことを確認しました。第一は、憲法運動の飛躍を図るため「第8回北九州9条の会交流会」の開催です。ここで、「どのようにして会を広げているか」「どのような日常活動を展開しているか」「解決が求められている課題」などを交流して、今後の会の発展を確認し合おうと

いうものです。第2は、憲法をめぐる情勢の変化に正確に対応する力をつけるために、そのとぎ時の「憲法課題の学習会」を憲法ネットの主催で開催することです。

3月以降諸団体の学習会が連続していますので、第1回を7月頃、第2回は11月を考えています。詳細は、これから検討することとしました。「第8回北九州9条の会交流会」は、3月13日(土)14時から戸畑生涯学習センターで開催します。沢山の皆様のご参加をお願いします。

北九州市の「非核・平和都市宣言」と「平和市長会議加入」を陳情

――八幡東九条の会――（「八幡東九条の会ニュース 2010年1月27日No.20」より転載）

1月12日、「八幡東九条の会」は北橋北九州市長に「北九州市の非核・平和都市宣言実施」と「平和市長会議加入」についての陳情を行いました。（陳情の記事は、1月13日付、「朝日」「西日本」新聞朝刊に掲載）

代表世話人の松井岩美さん、事務局長の石井さんらが、秘書室庶務係長の上田善浩さんへ市長宛の陳情書を読み上げて、お渡しました。

上田さんより、「陳情書は市長へ伝え、関係

部課を含めて今後の対応を検討する」とのご返事を頂きました。他の団体からも同じような陳情もあるようです。

1月13日、核兵器の廃絶、恒久平和の実現を希求する北九州市が、市発足の日、2月10日に平和に対する基本的姿勢を示す「北九州市非核平和都市宣言」を実施すると発表しました。

宣言記念式典では、秋葉広島市長のビデオメッセージ紹介や田上長崎市長の記念講演など

が行われます。

又、宣言実施後の主な取組みに、①平和市長



陳情書を手渡す松井岩美代表世話人

会議に
加盟、
②宣言
記念碑
の設置
及び本
庁舎等
への宣

言文パネルの設置、③「嘉代子桜・親子桜」を広める取組みなどが挙げられています。

昨年のオバマ米大統領のブラハ演説を機に、世界的に「核なき世界」を目指す機運が高まっ

ています。第二の原爆被爆地となる可能性のあった北九州市が、「非核平和都市宣言」を行い、「平和都市市長会議」に加入することで、今後一層平和を求める動きの盛り上がり期待されます。

現在、国内自治体の80%以上が核兵器廃絶や非核三原則を求める宣言や決議を実施、「平和市長会議」には、世界134国・地域の3400以上の都市、国内523の自治体が加盟しています

福岡県内の市町村60の大部分が平和都市を宣言、26が平和市長会議に加入することになります。

大きな感動をよんだ「いのちの山河」上映！1280名が鑑賞

2月18日(会場：ウエルとばた)、20日(会場：ムーヴ)で行われた映画「いのちの山河—日本の青空Ⅱ」の上映には、延べで1280名の参加がありました。いずれの会場でも、大きな感動を映画から受けたようで、回収されたアンケートは192枚に及びました。今後も、憲法25条を正面からとらえたこの映画を、多くの人に観てもらいたいと思います。

この日に寄せられたアンケートを紹介します。

「第1部の日本国憲法についての映画を観て大きな感動を覚えたので、この第2部も本日観ることができ、感謝しています。第1部同様、深く感動しました。村長が、1村の村民のいのちを守るため、固い意志を貫き通して、ひとつひとつ具体的施策を実現し、乳児死亡ゼロの実現、高齢者医療無料化などの実現をやり遂げた村長の姿に胸を打たれました。憲法25条の視点から、今日の日本を見直し、行動を起こすべきと思いました。・・・第3部は“平和と戦争”を取り上げて頂ければと願っています。(ポスターと新聞案内記事を見て来場された80代男性、海軍兵学校卒業生)」

「このようなことがあつたことを初めて知りました。この村のように、人の命を大切にする政治が実現されることを心より願います。(男、10代)」

「この様な素晴らしい行政改革を実現した方の実話の映画がもっと広く、世間の皆さんに知られる所になればと思います。映画も内容がすばらし



く、何度も涙があふれてきました。小・中・高校の教育機関でのボランティア映画として上映できたらと思います。もっと広めてください。よい映画をありがとうございました。(女、50代)」

こうじゃく9条の会で学習会

-----憲法ネット野瀬事務局長が報告-----

こうじゃく9条の会の1月例会が13日に大原市民センターで開かれました。今回は、市内の9条の会の活動について知る事がテーマで、北九州憲法ネットの野瀬事務局長がその報告をしました。

次いで、13名の参加者による懇談会になり、市内の憲法運動や、地域での9条の会のあり方に話が弾みました。こうじゃく9条の会は、活動としては、学習や懇談を中心にしています。この日は、地域で憲法署名活動をし、5000筆以上を集約した団体で活動している方が、その活動スタイルを話し、そのことから意見交流が活発化しました。

「9条を守る署名を集めていると、どうしても北朝鮮の問題に話がる。日本の現実、米軍基地

等話し、署名広げている」「9条の会は、主義主張が違ってても、9条を守る1点でまとまっているので、その和を保つことが大切だ」「折尾に住んでいた。自衛隊の戦闘機の騒音に悩まされた。9条の必要性を感じた。今後、こうじゃく9条の会でも署名行動も考えてみたらどうか」「北朝鮮問題など署名行動の折、相手から話されるだろうが、この対応も考える必要がある。」「地域の9条の会の交流をしてほしい。八幡地域の9条の会でやってはどうか」「安保や沖縄についての学習も必要」「非暴力こそ、今の混迷を抜け出す道と思う。9条がいま輝く時と思う」

こうじゃく9条の会は、今後も話し合いをつづけ、さまざまな意見を出し合い、学習を続ける事を確認し、今回の例会を閉じました。(文責・野瀬)

折尾9条の会 定例の宣伝行動

「憲法九条を守る折尾の会」は毎月第2金曜日折尾駅前前で第4日曜日はサンリブ折尾店前で憲法改悪反対のハンドマイクでの街頭宣伝と署名行動。今日は(2月12日)小雨で寒い第2金曜日、80才の男女2人を含め6人での行動。

現在の折尾駅舎は、大正時代からの駅舎を改造しながら使用されてきたが今年の秋以降取り壊し移築されるとのこと、この場所での宣伝活動も早いもので丸5年に、改造後の近代的な駅舎の前でも、改憲派が「まいりました」とあきらめるまで活動の継続を誓い合う。



2月9日 若松9条の会は、
スピナ前で宣伝行動
8人参加

歴史の逆行を許さない私たちの意志を

—八幡東区 渡辺隼子—(八幡東区九条の会ニュースNo.20 2010年1月27日より転載)

年末放映の「坂の上の雲」は、NHK常套手段の鳴り物入りキャンペーンによって「日本人としてこのドラマを観なくちゃ」という気分させられた国民も多かっただろう。九条の会事務局からの「感想を寄せて」との依頼に真面目に応えるべく、司馬遼太郎は直感的に嫌いで作品をほとんど読んでない私も気が進まないまま視聴した。ところが「ちょっと待ってよ！これは何？」…第一回の出だしから違和感と反感の連続でカルチャーショック。

二回目の「日清・日露戦争」編になると露骨な軍国主義賛美の連続で見るのが苦痛だった。主人公の秋山兄弟(阿部寛・モックン)と正岡子規(香川照之)をはじめ東郷平八郎(渡哲也)伊藤博文(加藤剛)大山元帥(米倉斉加年)…明治の「偉人」たちが、綺羅星のような魅力的な俳優たちに

よって人格高潔な人物として形象化されてスポットライトを浴びる。彼らに縦横に語らせる「歴史観と教育論」は、原作者の力量によってある種ことばの力(特に青年への説得力)を持っているのが怖い。「強い国家論」や「個人は国家にいかにか尽くすか」の美学が台詞にちりばめられている。秋山兄弟が活躍する大日本帝国の海軍や騎兵隊を率いる陸軍がいかに士気高く優秀か…スケール大きな戦闘場面が表現される。

こんな露骨な歴史の逆行をなぜいま?…NHKへの強い疑問と怒りが私の感想だ。NHKの製作意図は「この作品のメッセージはこれからの日本が向かうべき道に大きなヒントを与えてくれるだろう」という。こんな時代錯誤のメッセージは国民を愚弄した傲慢というべきで、NHKの権力的体質の表れだと思う。

今私たち国民は、平和でだれもが幸せになれるための国や社会のありようを求めて、なんとか政治を変えたいという強い願いのなかで苦しんでいる。そんなさなかに、巨大マスメディアである公共放送を使って「戦争に勝つ強い国家。命をささげ忠誠を尽くす強い国民」志向の皇国史観のプロパガンダ(政治的宣伝)を、許していいのだろうか。NHKのもう一つの側面である優れた真摯な映像文化の仕事が高く評価しつつも、俳優の魅力やドラマづくりの巧みさに目を奪われることなく国民の批判の眼を集中しないといけないと思う。そして、憲法九条を掲げた日本国憲法の下で暮らす私たちが求めているものは何か—歴史を前に進める国民の意思をしっかりと示すことが、今本当に大事なことだと感じる。

カンパ有難うございます。そして、お願い。

「九条の会・北九州憲法ネット」は会費をとらず、皆さんからのカンパのみで運営しています。毎月一回「北九州憲法ニュース」を発行し、また時々の憲法講演会の案内チラシを作成していますが、ニュース、チラシ等の印刷費や郵送料の捻出に四苦八苦しています。皆様からのカンパを是非お願い致します。カンパにご協力いただける方は下記の郵便振替口座までお願い致します。

振替番号:01700-8-115768 名義:「九条の会・北九州憲法ネット」

カンパ 12月 河村智重子 河野よう子 **1月** 内村敏男 深川和久 小沢和秋 水上平吉 小川由美 藤本久子 江藤恭子 吉本まさ江 山口司郎 安藤昭雄 勝元紀 松永奉義 小倉東総合法律事務所 北田君臣 須崎健一 竹中久 江島康弘 藤井利秋 島内弥七 増野ノリ子 古賀三千人 玉井史太郎 渡辺末子 野瀬秀洋 勝木多美 小司洋子 阿部陽子 竹下秀俊 **2月** 小西京子 丹下徹 佐藤充則 野瀬秀洋 酒見辰正 石松富貴子 末次美智 日野三千人 **メッセージ** 今年こそ九条改悪を断念させる年にしましょう 1/4 O.K ●色々お世話になりました。皆様もくれぐれも御身体に気をつけて活動されてください。1/5 O.U ●わずかばかりですがカンパとして送金します 1/6 M.T ●ご苦労様です 1/7 K.K ●北九州市長選まであと1年!今度こそ躍進を! 1/7 S.K ●事務局Nさんえ お体大切に検討を祈ります 1/8 F.T ●会のお世話ありがとうございます。さしありのカンパとして送金します。1/14 K.M ●9条の輝く日本を実現しましょう 1/14 T.F ●今年はまた新たな気持ちで、憲法九条をまもる運動を地域でも強めて生きたいと思います。少しですがカンパを送ります。事務局の方も大いに頑張ってください。1/14 W.S ●先日「こうじゃく地域9条の会」の例会に来ていただきありがとうございました。金山川や診療所友の会9条の会とも交流出来、良い例会が持てました 1/15 K.T ●4月3日の講演楽しみにしています。通信費用カンパします。1/18 S.Y ●今年もよろしくお願ひします。●1/19 A.Y募金として 2/16 S.T ●カンパとして 2/17 S.M